※令和３年度以前入学生用

学校番号	2102

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲc	単位数	２単位	年次	全年次 (数学Ⅱ（3 単位)履修後)
使用教科書	「改訂版　最新　数学Ⅲ」（数研出版）						
副教材等	「改訂版　教科書傍用　３ROUND　数学Ⅲ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対してみずから考え、考える力を養います。
・使う公式を考え、実際に計算し、求める解答を導くといった、問題解決能力を身につけます。

2　学習の到達目標

複素数平面や曲線について知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、論理的思考能力を育成するとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，複素数平面や曲線に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して，複素数平面や曲線の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的･発展的に考える。	数学的活動を通して，複素数平面や曲線の考えにおいて，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。	数学的活動を通して，複素数平面や曲線の考えにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、後期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前・後期 前半	複素数平面	複素数平面 複素数の和と差 複素数の極形式 ド・モアブルの定理	○ ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ 	a:複素数の有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:複素数を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 C:複素数を用いて，さまざまな図形の式を求めることができる。 d:複素数平面における基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等
前・後期 後半	式と曲線	１節　２次曲線 放物線 楕円 双曲線 ２次曲線の平行移動 ２次曲線と直線	 ○ 	 ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:曲線の方程式に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:曲線の性質を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c:曲線の性質を用いて,様々な関数の定積分を求めることができる。 d:曲線における基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等

※令和３年度以前入学生用

		２節　媒介変数表示と極座標 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといろいろな曲線	 ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○	a:関数の性質にも関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:媒介変数表示を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c:媒介変数表示を用いて，様々な座標を求めることができる。 d:媒介変数表示の概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。